

編集後記

麦秋の候、ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

2023 年になって、ようやく 3 年ほど続いた新型コロナ感染による様々な行動制限が緩和され、各々の活動が徐々に回復に向かっておりました。

『日本學刊』の第二十七号は、皆様のご支援のお陰をもちまして刊行できましたことに衷心より感謝を申し上げます。

さて、第二十七号は香港のみでなく、日本、台湾よりのご投稿もいただき、著者の方々に深く謝意を表したいと思っております。今号の内容は「日常会話における表現の使用実態の研究」、「台湾人大学生の日本語による自己紹介の研究」、「香港における日本語学習にテキスト生成 AI と拡張現実技術が活用の研究」、「学習者の批判的思考を促す新たな教授法の実践報告」、「e-learning 教材を活用したナ行音・ラ行音・ダ行音の聴取練習の実践報告」です。いずれも教育現場における日本語教育の最新研究と実践報告で、大変参考になる啓発的な内容です。著者の皆様方に心より敬意を表したいと思っております。ありがとうございました。

なお、編集と査読を務めてくださいました皆様に改めて御礼を申し上げます。今後とも末永く、『日本學刊』が皆様にとって良き交流の場として貢献できれば幸いと存じます。

次号のご投稿を心からお待ち申し上げます。引き続きよろしく願いいたします。

日本学刊編集委員会委員長
梁 安玉
2024 年 6 月吉日